

○課題改善カリキュラム 体育

【育てたい力】投の運動能力

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	正確なフォームで投げるとともに、投げたい場所に投げることのできるコントロールを身に付けさせる。	フォームを意識しつつ、リリースポイントや投げる強弱を使って、ボールコントロールを身に付ける指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の準備運動でキャッチボール(スロー&amp;キャッチ)を取り入れる。</li> <li>フォームロケットなどの用具を活用して、キャッチボールを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技ア ハンドボール・バスケットボール</li> <li>球技ウ ソフトボール</li> <li>球技イ バレーボール</li> <li>球技ウ ソフトボール</li> <li>球技ア ハンドボール・バスケットボール</li> <li>球技イ バレーボール</li> </ul>
小学校5・6年生	<p>パターン5</p> <p>軸足に体重を乗せてから、しっかりと踏み込み、体幹部を回転させながら、全身を使って強く投げる。</p> <p>パターン4</p> <p>ステップをして、軸足から踏み込み足へ体重移動をしながら、フォロースルーを行って投げている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の投動作の段階表をもとに児童の実態を把握し、発達段階も考慮しながら、正しいフォームを身に付けられるように6年間を通し、継続した指導を行っていく。</li> <li>運動の特性に沿った補助的な運動を主運動の前に意図的に取り入れ、できる喜びを感じさせ、意欲的に運動に取り組めるようにすることで、投の運動能力を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボール運動では「より遠くに」、「より強く」、「ねらったところに」など、児童に投の運動能力を高める必要感を持たせられるようなルールの工夫を行う。</li> <li>補助運動の中で、個の実態に合わせた指導・助言を行っていく。(運動例)・一列キャッチボール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動</li> <li>ゴール型(バスケットボール・ハンドボール)</li> <li>ネット型(ソフトバレーボール)</li> <li>ベースボール型(ソフトボール)</li> </ul>
小学校3・4年生	<p>パターン3</p> <p>後傾姿勢から踏み込んで投げているが、フォロースルーが不十分で反対腕の引き戻しもほとんど見られない。</p> <p>パターン2</p> <p>投げる手と反対の足を一步踏み出して、体幹をわずかに回転させながら、曲げた肘を伸展させて投げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の投動作の段階表をもとに児童の実態を把握し、発達段階も考慮しながら、正しいフォームを身に付けられるように6年間を通し、継続した指導を行っていく。</li> <li>運動の特性に沿った補助的な運動を主運動の前に意図的に取り入れ、できる喜びを感じさせ、意欲的に運動に取り組めるようにすることで、投の運動能力を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投げる運動を取り入れたゲームを行いながら、投の運動能力を高めたいという児童の意欲を引き出していく。</li> <li>毎時間、主運動を行う前に投の能力を高める補助運動を取り入れる。(運動例)・球、合戦！！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動</li> <li>ゴール型ゲーム(ボールシュートゲーム・ポートボール)</li> <li>ネット型ゲーム(キャッチバレーボール)</li> <li>ベースボール型ゲーム(Tボール・ハンドベースボール)</li> </ul>
小学校1・2年生	<p>パターン1</p> <p>投げる方向に正対したまま、足を踏み出さず、上体の前後方向の動きと肘の伸展だけで投げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の投動作の段階表をもとに児童の実態を把握し、発達段階も考慮しながら、正しいフォームを身に付けられるように6年間を通し、継続した指導を行っていく。</li> <li>運動の特性に沿った補助的な運動を主運動の前に意図的に取り入れ、できる喜びを感じさせ、意欲的に運動に取り組めるようにすることで、投の運動能力を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールゲームや多様な動きを作る運動遊びの中でボールを投げたり、捕ったりする運動を取り入れ、楽しみながら、投の運動能力を高めていく。(運動例)・ボール集めゲーム</li> <li>・スローイングゴルフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体づくり運動</li> <li>ゲーム(ボール投げゲーム)</li> </ul>

参考文献